



学習発表会は、他の学年の発表をお見せできませんでした。また家族の方々も御覧になれなかった方もおられると思います。せめて紙上でご紹介します。

「学習発表会スローガン「感動」」達成への道

「はじめのことば」～1年「あいうえおげきじょう」



1年生による「はじめのことば」に続き、劇「あいうえお」の発表でした。

「あ」ではじまる言葉や「い」ではじまる言葉達が集まる中、表れたのは「らいおん」「にんじゃ」達。「あ」でも「い」でもないと言っている「らいおん」の「ら」を伸ばしてみようというアイデアが。なんと「らいおん」は「らーあ」で「あ」の仲間に入れてもらえることになりました。「にんじゃ」も「ゆうれい」も……。すると今度は、「ん」が表れます。いくら伸ばしてみても「あ」にも「い」にもなりません。「自分なんかなくてもものいいんだ」と投げやりになる「ん」にみんなは「君がいなくて困るよ。」と訴えます。「ぼくは、『らいおん』じゃなくて『らいお』になっちゃう。」と訴えます。「だれもみんな必要で、大事なんだ。」と大切なことに気がついたのです。



コロナ禍でもクラスの仲間と楽しくやり切ることができていい思い出になったと思います。

昔のことはだんだん忘れませんが、小学校で始めて何かをやった思い出はけっこう覚えていたりします。コロナで大変なか工夫をこらして開催して下り「初めての学習発表会」として記憶に残ると思います。

元気に歌ったり踊ったり一生懸命な姿に感動しました。人数が多いクラスをまとめご指導してくださった先生に感謝いたします。

毎日がんばって練習した成果を発表する時間を作っていただき、制限はありましたが、成長をみることができて満足しています。

2年「みんなでおどろう！せかいのおどり」



2年生は、“オンライン”で、世界の踊り巡り。フィリピン、デンマークと世界を巡り、謎の「ニネンセイジン」も表れ、1～9の段の九九を始めました。最後はみんなで「種市小唄」を踊りました。

コロナだけどできることを頑張っていました。こっそり涙していました。

みんな笑顔が多く楽しんでいるのが伝わってきました。種市小唄の「ほいのほいのほーい」のフレーズ、私も小学生時代、すごく印象に残っています。

マウスシールドをしていたが、みんな後ろまで聞こえる声の大きさにびっくりしました。

招待状に書いてあった宣言通り頑張っていました。



3年「レッツ スタート ミュージック」



短い発表の中に込められた想いがしっかりと伝わってきました。いろいろな曲目の中で「にじ」が心に響き伝わり感動した。

様々な発表を取り入れて短時間でも子どもたちの一生懸命な姿勢が伝わってきた。



3年生は音楽。手拍子でリズムをとったり、笛や鍵盤ハーモニカ、鉄琴を使っの演奏をしたり、歌ったり。学級で「協力して心と音を1つにしてがんばろう」のめあてをたててがんばりました。

以前と比べしっかり周りを見て判断し先生のことを集中して待っている様子がうかがえ、一人一人の成長ぶりに感慨深いものがありました。